

# JAみねのぶ

8月号



J Aみねのぶ青年部 営農視察研修  
(北海道ボールパークFビレッジ 7月11日)

■発行日/令和5年8月1日/No.1456号

■発行/峰延農業協同組合

〒079-0192 美唄市字峰延37番地

Tel 0126(67)2111 Fax 0126(67)2793

ホームページアドレス <http://www.ja-minenobu.or.jp/>

■編集/総務課 ■印刷/空知印刷株式会社

## バスカップ出荷始まる

峰延バスカップ生産組合では6月19日からバスカップの出荷が始まりました。

峰樺3区の多目的倉庫で受け入れ作業が行われました。生産者はステンレス製のトレイにバスカップの実を入れて持ち込み、JAの担当職員と計量作業を行いました。出荷したバスカップはJAびばいの選果場へ運ばれました。

当JA生活店舗では冷凍したバスカップの販売を行っています。



バスカップ受け入れ作業の様子



生活店舗で冷凍バスカップを販売しています

## 今年度のバスカップ狩り閉園

6月22日、当JAの6カ所の観光農園でバスカップ狩りが始まりました。今年も全道各地から多くの来園客が訪れ、7月10日に閉園となりました。

峰延バスカップ生産組合長の高橋廣さんの畑では、初日から数十人が訪れ、来園客は青紫に色づいた鈴なりの実を丁寧に摘み取つて楽しんでいました。

常連客は「実が大きく、甘酸っぱくておいしい。採った実はジャムにしてヨーグルトにかけて食べる」と話していました。

## メロン収穫始まる

J A管内では7月16日から、メロンの収穫作業が始まりました。

峰延メロン生産者の会の上島達也さんのハウスでは、赤肉で糖度の高さと柔らかい食感が特徴の「ルピアレッド」を収穫。出荷前の検査では糖度が14度以上あり甘み十分で、上々の出来となりました。

上島さんは「予察を毎日欠かさず行い、適期防除、適期収穫を心がけた。甘みが乗つていて去年より出来がいい」と笑顔で話していました。



バスカップ農園で実を摘む来園客



専用の段ボール箱に詰められて出荷されるメロン



メロンを箱詰めする上島悦子さん

出荷は8月上旬まで続く見込みです。

## 香りの畦みちハーブ苗 ハーブ苗引渡し定植行う

6月22日、当JAの「香りの畦みちハーブ苗」の栽培に使用するハーブ苗の引渡しを峰樺3区の農産物検査場所で行いました。今年は2人の生産者へ「アップルミント」を引き渡しました。

6月24日、新規作付者である美唄市光珠内の永井誠二さんの圃場でハーブ苗の定植作業を行いました。香りの畦みちハーブ米生産部会の会員とJA職員合わせて9人が参加しました。

会員らはスコップで約1m間隔に穴を掘り、水やりしながら手作業で丁寧に定植を行い、約2時間で171ヶの圃場の周りに684株のハーブ苗を定植しました。

香りの畦みちハーブ米生産組合では、水田の周りにハーブを栽植し、カメムシの発生源であるイネ科雑草を抑制し、農薬の使用量を北海道が策定した化学合成農薬の成分使用回数22回に対して、半分以下に減らした「香りの畦みちハーブ米」を生産しています。安全・安心な農産物の供給と、環境保全型農業の実践に取り組んでいます。



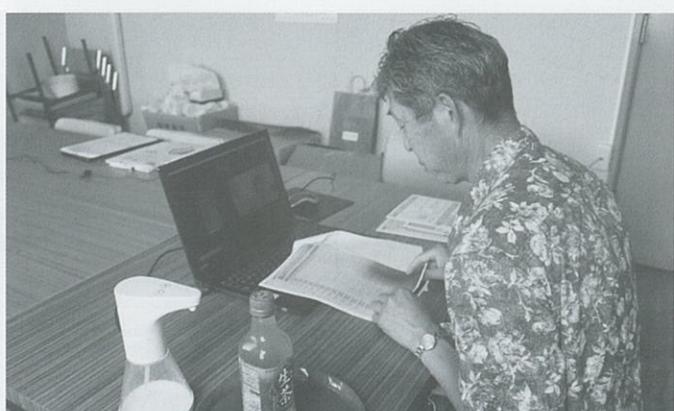
スコップで穴を掘る会員の皆さん



ハーブ苗を定植する小川浩之会長



トルコギキョウを収穫する伊藤俊春さん



年金について相談をする横谷博司さん

## 花王俱楽部のトルコギキョウ 出荷始まる

当JA管内の花生産グループ「花王俱楽部」では、7月9日からトルコギキョウの出荷が始まりました。

トップを切ったのは、トルコギキョウを10ヶ作付けしている北村中小屋の伊藤俊春さんで、昨年より6日遅い出荷となりました。

今年は部員3人で約30ヶ作付けし、8月上旬から中旬にかけて最盛期を迎え、10月中旬まで出荷が続く見込みです。

伊藤さんは「低温の影響で初期

## 社労士にZoomで年金相談 7月7日、当JA本部事務所で年金相談会を開催しました。

当JAでは、組合員や利用者の皆さまが安心して年金を受給できるように年金相談会を開催しています。今年は、Zoomによるオンライン形式で行われ、参加した皆さんは社会保険労務士へ年金受給に必要な手続きについてなどを質問していました。

生育に遅れがでたが、気温が上がりに草丈も十分で上々の仕上がりになつた」と話していました。

## 青年部員が農業用廃プラスチック分別

**合計33トン受け入れ**

J Aみねのぶ青年部は6月23日、峰樺3区の農産物検査場所で使用済み農業用廃プラスチックを受け入れました。産業廃棄物である廃プラスチックをリサイクルすることで、環境保全の推進や資源の有効利用促進することを目的に毎年取り組んでいます。

135人の生産者が持ち込んだ約33トンの使用済みハウスビニールや育苗箱、フレコンバッグなどを31人の青年部員が分別しました。分別した廃プラスチックは、苦小牧市の工場で有効資源としてリサイクルされ、火力発電所で化石燃



廃プラスチックの分別をする  
(左から)岸本久靖さんと仲河守さん

料の代替燃料として再利用されます。

星野功平部長は「部員全員の協力によりスムーズに分別を終えることができた。生活環境を守り、安全・安心な農産物の生産を目指すため、次年度以降も引き続き取り組んでいきたい」と話しました。J Aでは年2回、廃プラスチックの受け入れ作業を行つており、次回は10月下旬の実施を予定しています。

## 水稻現地研修会 直播水稻の現在の作況を確認

7月4日、美唄市豊葦町の加藤禎行さんの「空育198号」と

「えみまる」の試験圃場で水稻直

播栽培の現地研修会を行いました。

当管内では、水稻の直播栽培に取り組む生産者が増加しており、栽培技術の安定を図ることを目的に行われ、10人の生産者が参加しました。

講師に空知農業改良普及センターの谷村普及指導員と村主査を招き、播種行程や碎土率調査、生育調査など各種調査結果を説明しました。参加者からは隨時多くの質問があり、活発な情報交換が行われました。

JAみねのぶ青年部は6月23日、峰樺3区の農産物検査場所で使用済み農業用廃プラスチックを受け入れました。産業廃棄物である廃プラスチックをリサイクルすることで、環境保全の推進や資源の有効利用促進することを目的に毎年取り組んでいます。

JAみねのぶ青年部は6月23日、峰樺3区の農産物検査場所で使用済み農業用廃プラスチックを受け入れました。産業廃棄物である廃プラスチックをリサイクルすることで、環境保全の推進や資源の有効利用促進することを目的に毎年取り組んでいます。



水稻現地研修会の様子

## 大豆現地研修会 根粒を確認し肥培管理組み立てる

7月5日、峰樺3区の八田重忠さんの圃場で大豆の現地研修会を行い、10人の生産者が参加しました。

講師に空知農業改良普及センターの服部普及指導員を招き、今年の美唄の気象と普及センター本所管内の大豆の生育概況や大豆における根粒菌の役割などについて説明しました。

JAみねのぶ青年部は6月23日、峰樺3区の農産物検査場所で使用済み農業用廃プラスチックを受け入れました。産業廃棄物である廃プラスチックをリサイクルすることで、環境保全の推進や資源の有効利用促進することを目的に毎年取り組んでいます。



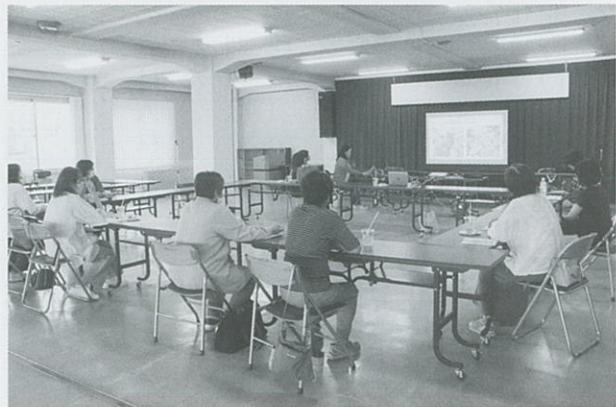
大豆現地研修会の様子

## 峰千加×美唄市地域おこし協力隊 意見交換会

7月13日、みねのぶの女性農業者グループ峰千加(ほうせんか)は当JA本部事務所で意見交換会を行い、会員9人が参加しました。

地元美唄をよりよくするために何ができるかをテーマに、美唄市地域おこし協力隊の木口モモさんと尾崎心音さんをゲストに迎え行いました。

JAみねのぶ青年部は6月23日、峰樺3区の農産物検査場所で使用済み農業用廃プラスチックを受け入れました。産業廃棄物である廃プラスチックをリサイクルすることで、環境保全の推進や資源の有効利用促進することを目的に毎年取り組んでいます。



峰千加の活動内容紹介の様子

り返りながら紹介し、「地域に貢献できるよう、楽しみながら活動をしていきたい」と話しています。

峰千加の会員からは、「美唄を知るきっかけや地域おこし協力隊になるきっかけは何だったのか」や「美唄に住んでみて、ここをこうしたらもっと良くなるのに感じたことは何ですか」など、木口さん、尾崎さんへ多くの質問が上がりました。

木口さんは、地域活性化に向けて峰千加とタイアップして取り組んでみたいことについて「料理教室のワークショップの開催を協力

隊として携われたらおもしろい」と話していました。

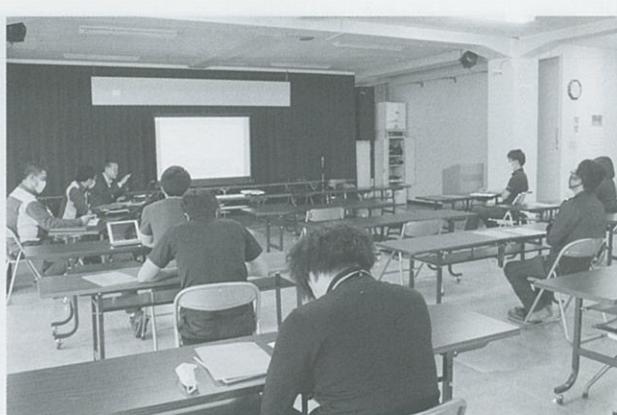
意見交換会では会員の加藤笑子さん（豊葦第一）が手作りしたお花のおはぎと、吉田美穂さん（光珠内北）のハーブティも用意され充実した意見交換会となりました。



意見交換会に参加した皆さん

（ハサップ：食品の安全を確保するための衛生管理手法）を基準にした衛生管理が義務化されました。農業倉庫は当制度の対象外ですが、その流れは意識しなければならず、「自主的な衛生管理」の徹底が求められています。

コクゾウムシ等の害虫の発生サイクル、繁殖能力、害虫管理の方法についてスライドを使って説明を受けました。講習を受けている職員は熱心に聞き入っていました。



倉庫講習会の様子

令和3年6月からHACC（吉田栄会長）は三笠市岡山にある三笠市パークゴルフ場でパークゴルフ大会を行い、27人が参加しました。

参加者は9組に分かれて3つのコースから一斉にスタートし、日々の練習の成果を発揮しようと真剣にプレーしていました。

今大会の優勝者は、男性部門は渡辺幹夫さん（峰延東松盛会）、女性部門は渡辺艶子さん（峰延東松盛会）で夫婦揃っての優勝となりました。ホールインワンは、渡辺幹夫さんで、競技終了後に表彰式が行われました。

7月7日、峰延農協年金友の会パークゴルフ大会



パークゴルフ大会の様子

7月19日、営農販売課が当JA本部事務所で農産物の適正な保管管理を行うことを目的に講習会を開き、職員8人が参加しました。

講師に、ビルや工場などの衛生環境の維持などに取り組む株シ

ー・アイ・シーの社員を招き行いました。

（吉田栄会長）は三笠市岡山にあ

## 小麦集出荷調製施設 操業始まる

小麦集出荷調製施設で本年産小麦の受け入れが7月23日から始まりました。

刈り取り作業は早いところで7月12日頃から始まり、20日頃にピークを迎えるました。

今年の小麦集出荷調製施設のピット毎の出荷一番乗りは美唄市光珠内町北の仲河政博さんのご子息の仲河守さんと岩見沢市峰延町の北野博視さんでそれぞれ「きたほなみ」2096キロと2325キロを搬入しました。記念品として伊藤組合長がお祝いの品を手渡しました。



初出荷の記念品を受け取った  
(左) 仲河守さんと (右) 北野博視さん



秋播き小麦収穫作業の様子

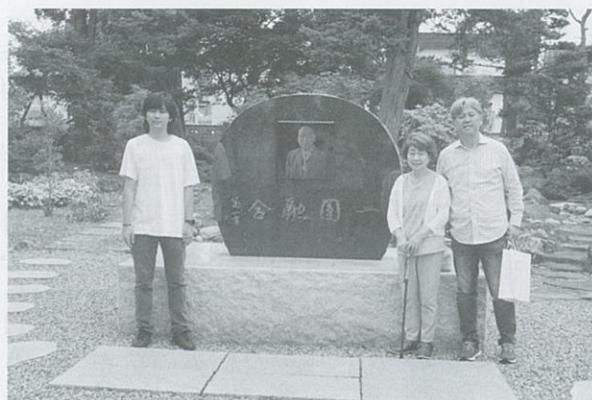
### 小林篤一翁の孫娘とひ孫、 玄孫(やしゃご)が

#### 墓参りに来訪し組合長に挨拶

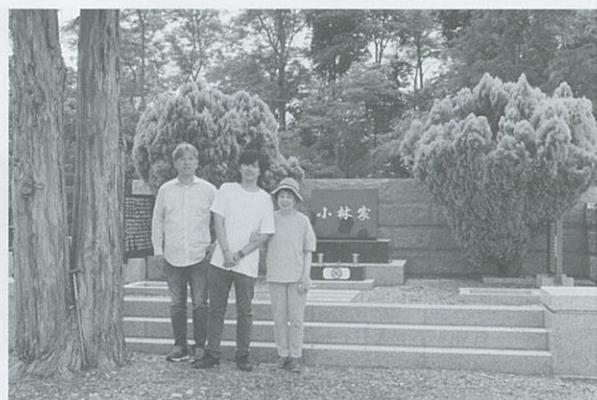
7月10日、小林篤一翁の孫娘さん（杉原洋子さん／東京都在住）

とお子さんとお孫さんの3人が、小林家の墓参りに6年振りに訪れました。平成19年に当JAに寄付をされた峰延本町の小林篤一翁顕彰公園を見に訪れ、当JAにお礼を伝えに来所されました。

3人は、公園内を見た後に、峰延墓地に移動して小林家のお墓に手を合わせられ、東京にいる親族に手



公園内石碑の前で



小林家墓の前で

帶電話の動画でお墓やお墓から見える景色などを伝えていました。  
小林篤一翁顕彰公園と峰延墓地

にある小林家墓地が雑草取り等で綺麗に維持していただいていると謝意を表されました。

## 役員コンプライアンス研修会

6月26日、当JA本部事務所でJA役員を対象にコンプライアンス研修会を開催しました。企業不祥事の本質を理解することを目的に行い、理事7人、監事3人が出席しました。

研修会では、全国農業協同組合中央会が製作した不祥事に関するDVDを視聴し、役員の皆さんは熱心に研修を受けていました。

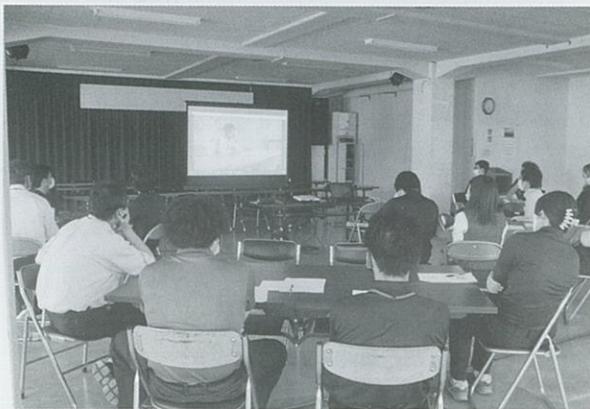


役員コンプライアンス研修会の様子

## 職員コンプライアンス研修会

6月28日、当JA本部事務所で正職員を対象にコンプライアンス研修会を開催しました。職員一人一人のコンプライアンス意識を高めることを目的に行い、職員23人が出席しました。

青木総務課長から令和4年度に発生した不祥事の概要について説明した後、全国農業協同組合中央会が製作した不祥事再現ドラマを視聴しました。コンプライアンスの違反事例を学び、違反の結果どのような損害が発生したかや関係者がどのように処分を受けたかを確認しました。



職員コンプライアンス研修会の様子



グループワークで出た意見を発表する  
農業振興課高橋職員

1グループ4、5人に分かれ、コンプライアンス違反の内容や、違反が発生した背景や原因を分析しグループワークを行いました。

研修会に出席した職員は「不祥事を起こした場合、組合の信頼を失うだけではなく、職や社会的な信用を失つてしまう。不祥事を自分事として捉え、当事者意識を持つことが必要」と話していました。

**小林篤一翁頭彰公園  
JA役員OBらが雑草取り**

6月29日、美唄市峰延町本町の小林篤一翁頭彰公園の草取り作業を峰延農協協栄会と美助つ人俱楽部の皆さんに行い、25人が参加しました。



倒れた石灯籠を立て直す  
(左から) 森川和徳さんと浅香邦彦さん



雑草取りに参加した皆さん

雑草取りは朝8時から行われ、ボランティアの皆さんには草取り鍬等を使って落ち葉を集めたり、倒れた石灯籠を立て直したりしました。

6月24日、25日にJR生鮮市場米「峰」の販売促進を行いました。岩見沢店で周年祭が行われ、JA米「峰」の販売促進を行いました。

店舗前に特設テントを設置し、飲料や果物、米などの売り出しをしており、当JAは営農販売課の佐藤課長補佐と大泉職員、総務課兼事業統括室の阿部主査が参加しました。

## JR生鮮市場で 米「峰」をPR



「峰」のPRをする  
営農販売課大泉職員

## 第6回(7月定例)理事会開催

7月26日開催の第6回(7月定期)理事会において次の事項が決議されました。

### ◇決議事項◇

1. 理事に対する資金の貸付につ

いて

二宮翁は次のように話された。大学という書物に、「安而后能慮、慮而后能得」と書いてある。このことは本当である。

一般の人は、切羽詰まって、苦し紛れにいろいろと思案するため、なかなか良い案が浮かばずに、うまくいかないことが多い。余裕をもつて心を落ち着けた後に、熟慮して事に当たれば、失敗はない。「而して后能く得る」とは、本当に当を得た言葉である。

（夜一〇〇）

※ 「安而后能慮、慮而后能得」（やすんじてしこうしてのちによくおもんばかり、おもんばかりしてのちよくうむ）

（やすんじてしこうしてのちに心を平穀にした後であれば、じつくりと思いをめぐられ（考へ）事ができ、よく考えた後にこそこそと案が生み出せる。

## 報徳

心を落ち着けてから、  
熟慮すればよい考えに  
到達できる



## JA職員野球大会

応援ありがとうございました！

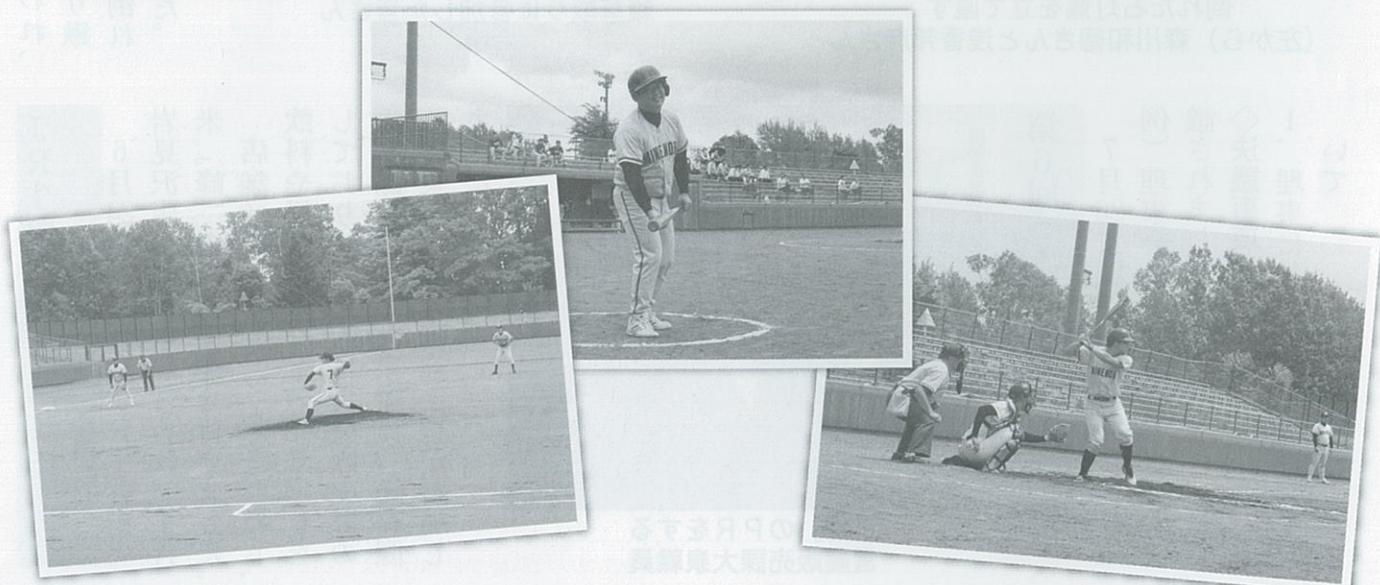


第64回空知管内JA野球大会が7月3日、5日に新十津川ピンネスタジアム、新十津川町ふるさと公園野球場で行われました。

JAみねのぶ野球部は7月3日に優勝常連チームのJAいわみざわと対戦しました。初回からヒットとエラーが重なり大量失点をし、0対15で残念ながら1回戦で敗戦しました。

野球部事務局の営農資材課上田駿樹職員は「試合には負けましたが、課を超えたコミュニケーションを図ることができた。今後も勝利に向けてひたむきに練習し、全力で試合に臨むことで、よりよい職場環境づくりに努めていきたい」と話しました。

応援ありがとうございました。



# 青年部だより

Vol. 10

With a  
YOUTH  
Smile)

## J Aみねのぶ青年部

### 令和5年度新加入部員紹介

しらいし いし  
慎二  
白石かいほこ  
海鉢  
しゅうき  
崇貴

岩峰瑞穂地区で農業をしている白石慎二です。就農以前は農機会社に勤めていました。主に機械の組立や調製の仕事をしていたので、その経験を活かし今後機械の整備などを自分でしていけたらなと思います。

農業については、知識や経験が足りなくまだ分からぬことの方が多いので、皆さまご指導ご鞭撻よろしくお願いします。

(株)沼南ファームの従業員として勤務しています。この地域で農業できていることに感謝し、この地

域の発展に少しでも力になれればと思っています。  
まだまだ未熟者です。沢山のご指導いただければ幸いです。  
よろしくお願ひします。

### 廃プラ回収を終えて

石上 和哉

6月23日に春の廃プラ回収を行いました。今年度も昨年同様、組合員様にご協力を願いして計量場までご足労頂きまして、回収重量は約33トンとなりました。

今年度も昨年同様、組合員様にご協力を願いして計量場までご足労頂きまして、回収重量は約33トンとなりました。

改めて、組合員の皆様、盟友の皆様にご協力を願いたい事にお礼申し上げます。

また、今後とも青年部事業への皆様のご協力よろしくお願いします。

### 営農視察研修を終えて

有ノ木 宏哉

7月11日に営農視察研修を行いました。

研修先は北海道ボールパークFビレッジで、自由散策の後、施設内にあるクボタアグリフロンティ最先端の農業について学びました。ここでは作物の栽培は機械が管理しており、収穫までもが自動化されているものもあつたので驚きました。

その後、「キリンビアレストラン



昨日は天候に恵まれ、新型コロナウイルスも第五類に移行したことにより、大規模な感染症対策を行わずにできました。そして、大きなトラブルもなくスムーズに終えることができました。

昨今問題となつてゐる大気汚染や海洋汚染が社会的課題となつてゐる中での廃プラスチック回収は大変意義ある活動だと感じました。改めて、組合員の皆様、盟友の皆様にご協力を願いたい事にお礼申し上げます。

また、今後とも青年部事業への皆様のご協力よろしくお願いします。



「ハウベ」で懇親会を行い、盟友同士親睦を深めました。

ボールパークは話題性も高く、普段は見ることのない農業の形も見られて、とても貴重な研修会となりました。

ありがとうございました。

**今年も実施します!**

# 2023 ビッグサマーセール

セール期間：令和5年7月7日(金)～8月6日(日)

ポイントがいっぱいになつた組合員証のご提示で  
5%OFF!

組合員証

J Aみねのぶ店

名前 \_\_\_\_\_

准組合員証

J Aみねのぶ店

名前 \_\_\_\_\_

期間中のお買い物でJA正准組合員証(スタンプカード)をご提示いただぐと  
ポイントが  
**平日は2倍! 土日は5倍!**

<2023 ビッグサマーセール大抽選会のお知らせ>

令和5年8月13日(日) 12:00～14:00 JAみねのが生活店舗前

期間中、お買い上げ金額1,000円につき、抽選補助券1枚、5,000円につき、抽選本券を1枚贈呈致します。

抽選補助券を5枚集めると、『抽選本券』1枚と交換できます。

抽選本券との交換の締切は、8月7日(月)までですので、忘れずに交換して下さい。

抽選会当日、『抽選本券』1枚で、抽選に1回参加することができます。

\* 還元セール、その他取りまとめ購入は「対象外」となりますので、予めご了承願います。

<1等>



当日までシークレット!  
当日までのお楽しみ!  
しかも大奮発!

10万円相当

1本

何が当たるのかは...  
当日のお楽しみです!

<2等>

旅行券



5万円分  
2本

<3等>

・美唄ピバの湯ゆ~りん館  
回数券(12枚綴り)

または

・三笠天然温泉太古の湯  
回数券(12枚綴り)

各3本

4等 日本酒「一圓融合」

飲み比べセット

(3本入り) 3本

その他にも色々な賞品を  
ご用意しております。